

シラバス

2019 年度

ビジュアルデザイン科グラフィックデザイン専攻2年

本物にふれる 本当の力をつける



学校法人高澤学園 美術造形専門学校

創形美術学校

ファインアート科 / ビジュアルデザイン科 / 研究科

履修ガイド

1 . カリキュラム

- (1) 授業について単位を修得するためには2/3以上の出席が必要となる。止むを得ず授業を欠席する場合、必ず事前に学校へ連絡すること。
- (2) 原則、指導日の授業開始時に出欠確認を行う。遅刻・早退は記録し、欠席扱いとなる場合がある。
- (3) 交通機関の遅れに関しては必ず遅延証明書を提出すること。
- (4) 各授業のシラバスには授業内容の他、学習目的、予習、準備物、注意事項とともに評価方法及び教員・講師の出校日も記載。授業の1週間前にはアトリエにシラバスを掲示。また学校ホームページでも確認することができる。
- (5) 指導日以外は授業が休みということではない。指導日以外の日も各自で制作を進めること。授業期間で制作を行うことで時間数に基づき単位がそれぞれ設定されている。スケジュールを確認し、作品提出日をしっかり守ること。
- (6) 気象庁より23区に災害警報（暴風警報・大雪警報等）が発令された場合は原則休校となる。その場合は、学校から休校のメール連絡を行う。
- (7) 日曜、祝日において基本的に学校は休日（付帯教育は除く）となるが、場合により日曜、祝日を授業日とすることがある。新年度ガイダンス時配布のスケジュールに記載されるのでよく確認をすること。
- (8) 日曜において授業日以外の目的でアトリエを学生に開放して制作を行うことができる場合がある。ただしこの場合、使用できるアトリエは学校の指定する教室のみとなる。開放日においては新年度ガイダンス時配布のスケジュールに記載されるのでよく確認をすること。

2 . 単位の認定

- (1) 実技=課題の採点により合格と認定のあった学生には、所定の単位を与える。
学科=試験、課題(レポート含む)等の採点により合格と認定のあった学生には、所定の単位を与える。
- (2) 単位計算の基準=各授業科目（実技、学科共）に対する単位は週90分半期17週相当（25.5時間）の授業をもって1単位とする。

3 . 進級の要件

本校の学生が進級するには、1年間の修得単位が31～33単位以上なければならない。

4 . 卒業の要件

本校の学生が卒業するには3年以上在学し、かつ所定の96単位以上修得しなければならない。

5 . 履修に関する注意

- (1) 学生の履修は在籍する科の指示に従い、受講する科目は原則として全て履修する。
- (2) 授業途中からの受講は原則として認めない。
- (3) 受講した科目は、原則として変更することはできない。
- (4) 選択を希望する科目で受講人数が多い場合は、人数制限を行う事がある。

6 . 採点について

- (1) 科目の採点は、授業終了時に行なわれる。
- (2) 必要に応じて授業内で課題(レポート含む)提出を複数回、行なうことがある。
- (3) 採点の方法は課題(レポート含む)の提出による採点とする。
- (4) 受講した科目は課題(レポート含む)を提出して採点を受けなければならない。
- (5) 受講した科目の出席日数が、3分の2以上に満たないものは、原則として採点を受けることができない。
- (6) 授業料等未納者は原則として科目を受講する資格がない。

7 . 追採点

病気その他やむを得ない事由により課題(レポート含む)を提出することができなかった者に対し、事前にその旨連絡のあった場合に限り、願い出により実施することができる。ただし課題(レポート含む)内容は授業内の課題(レポート含む)と異なる場合がある。

8 . 採点基準

- (1) 課題(レポート含む)の採点は、60～100を合格とし、それ以下を不可とする。
- (2) 配点区分は次による。

採点	評価	
100～95	AA	
94～80	A	
79～70	B	合格
69～60	C	
59～ 0	D	不可
保留	-	仮処置

(3) 採点保留(仮処置)による扱い

※学科において課題(レポート含む)採点の結果、点数が59点以下の場合、不可となり原則として次年度以降において再履修となる。

※授業を担当する講師による採点が保留となった場合、追課題(レポート含む)は成績会議により専任の判断に委ねられる。

※修得単位数が1年次、2年次それぞれで15単位以下、または1・2年次を通じて合計32単位以下は留年となる。

9 . 学科再履修

採点の結果、不可となった者は次年度以降において原則としてその学科目を再履修しなければならない。ただし、在籍学年の履修を優先とするため、履修科目の変更、または再履修年度の変更についての決定は学校の指示に従うこととする。

10 . 仮進級及び卒業・修了資格判定及び卒業・修了判定

- (1) 前期授業と後期授業において学科・実技の履修状況の確認を学期末に学生・保護者に郵送する。未提出課題のある学生はすみやかに学校の指示に従い、課題(レポート含む)の提出を行わなければならない。
- (2) 卒業・修了年次においては11月に卒業資格判定を行い、判定結果の掲示を行う。その際に出席、学科、実技などを考慮した結果、卒業・修了資格なしと判定のあった者は卒業・修了制作を着手する事ができず、卒業および修了不可となる。判断保留の学生については、3月において卒業・修了判定を行い、単位の修得状況によっては卒業・修了制作の提出があっても卒業・修了不可となり、留年もしくは卒業・修了延期となる場合がある。
- (3) 学費において未納がある場合、卒業・修了判定において卒業・修了不可もしくは除籍となることがある。

11 . 授業単位サポート制度

「授業単位サポート制度」とは単位修得をサポートするための制度。いずれも専攻担当専任教員と面談を通じて認定される。

代替授業、学外活動を通じて認定

- (1) 所属専攻、該当学年の授業以外の授業を受講することによる単位修得(単位数:受講授業単元に準ずる)
※所属専攻の授業と重複した場合は受け入れ授業の担当教員の許諾により、途中からの受講、中抜けも認め、その場合のみ出席扱いとする。
例:「ポートフォリオ」など研究科授業を受講することにより単位取得。

- (2) インターンシップに参加、レポートを提出することによる単位修得（単位数：1単位）
※2年次の「インターンシップ」の授業と同様のインターンシップを、授業以外の期日に行った場合に認める。
「インターンシップ」の授業同様に書類、レポート提出が必須。採点方法は受入会社の評価に従い採点。
- (3) ボランティア活動などによる単位修得（単位数：活動期間に準ずる）
※単位認定は原則、実質1日8時間のボランティア活動を5日行う事で1単位とする。事前に専攻担当専任教員による面談を行い、ボランティア活動を行った後に「ボランティア活動報告書」の提出をもって認定。採点評価。
例：認定されるボランティア活動「豊島区フラッグ」「アート公衆トイレ壁画」「池ポス展」etc
- (4) 学外コンペに出品することによる単位修得（単位数：1単位）
※専攻担当専任教員にコンペの内容を事前に報告し、出品前に専攻担当専任教員の講評を受けて出品すること。
ただし授業の一環として行われた学外コンペの出品は認められない。採点は出品のみC。入選するとAorB。受賞するとAAと同等とみなし採点。
例：「JAGDA学生グランプリ」「アワガミ国際ミニプリント展」「ICAF」「GUタペストリーコンペ」etc

特別支援授業を通じて認定

- (1) 特別支援授業を受講することによる単位修得（単位数：各1単位）
※特別支援授業とは、単位取得を支援するために行われる授業。春季休暇、夏期休暇に実技授業・学科授業が開設。授業前に事務局窓口で受講することを告げ、受講料を支払うことにより受講が認められる。
受講料：1講座15,000円 / 採点方法：提出作品、試験、レポート等によって採点。

12 . 参考作品について

提出のあった課題作品、およびレポートについては原則として採点終了後、すみやかに返却を行なう。場合により参考作品として一定期間預かり、授業の資料として授業時やガイダンスなどで使用する事がある。また、学校案内用の印刷物や広報（WebやSNS）および学校外など授業以外での目的で作品を使用する事がある。

ビジュアルデザイン科グラフィックデザイン専攻

シラバス

前期学科授業名：「色彩論Ⅱ」 担当講師：初谷希代香

授業期間：毎週 2019/4/10(水)-2019/10/23(水)

授業時間：9：00-10：30

学習目標：色彩論Ⅰの内容から、さらに色彩の知識を深めていきます。配色の応用方法と活用のしかた、UC（色のユニバーサルデザイン）など、色の捉えられ方や、調和論を活用した表現の取り組みを行います。

授業内容：色の効果を活用した作品の制作（コンクール応募作品含む）

AFT色彩検定2級・UC（色のユニバーサルデザイン）級対応。

選択学科(前期・後期)授業名：「フランス語Ⅱ」 担当講師：内田雅之

授業期間：2019/4/15(月)-2020/2/17(月)

授業時間：10：40-12：10

学習目標：フランス語Ⅰの修了者を対象として、一年次に習得した基礎力を基盤としながら会話表現・文法の両面での知識を広げていきます。また、少しずつ書かれたものを読む練習も行います。

授業内容：前期は、まず問題練習などを通じて、書くという別観点を少し意識しながら昨年の復習を行います。その後複合過去、単純未来へと文法面で次のステップへと移っていきます。後期は、フランス旅行の機会を想定して、オリジナルのフランス旅行のしおりを作成していく課題が課され、校内展示の機会を設けます。

選択授業名：「特別講座」 担当講師：ゲスト講師

授業期間：2019/6/15(土)、9/10(火)、9/14(土)、11/9(土)、12/7(土)

授業時間：13：00-16：00

学習目標／授業内容：現代社会においてクリエイターの役割は益々重要性を増し、その領域は日々拡大しつつあります。講座では創作における考え方、発想法をリアルタイムな講義を通して学んでいきます。

就職セミナー：就職活動から入社後の心構えやクリエイターとしての取り組みなどについてセミナー講座を開催。

前期実技授業名：「タイポグラフィ基礎」 担当講師：小田敬子

授業期間：2019/4/9(火)-2019/9/25(水)

授業時間：火曜 9：00-12：10 水曜 13：00-16：00

学習目標：文字制作の地道な作業とブラッシュアップを繰り返し、根気強いデザインマインドを育みます。

授業内容：文字の設計およびデザインのルール作りとデザインの精緻化によりイメージの伝達、可読性を学びます。

前期実技授業名：「メディア・ブランディング基礎」 担当講師：佐藤芽生

授業期間：毎週 2019/4/9(火)-2019/9/17(火)

授業時間： 13：00-16：00

学習目標：メディアとはなにかを『知り』、『考え』、『アウトプットする』の工程を繰り返し経験し、クリエイティブに向かう基本姿勢を身に着けることを目指します。

授業内容：メディアの性質を学び、思考を制作物に落とし込むワークを行います。また、他者との対話を通じて集客課題に取り組みます。

前期実技授業名：「広告デザイン基礎」 担当講師：原口昌彦

授業期間：毎週 2019/4/9(火)-2019/9/17(火)

授業時間： 13：00-16：00

学習目標：プロになるための基礎的な要素を実践形式で身につけていく。企画、立案、設計に必要なアイデアの構築とその仕組みを広告グラフィック・デザインをベースに展開する。

授業内容：テーマごとに実践形式の課題を出し制作を実施。問題点の抽出と改善をプロセスを通して発見出来るワークフローを身につける。制作終了後プレゼンテーション・講評を実施。

前期実技授業名：「企画制作実習」 担当講師：山本哲次

授業期間： 2019/4/12(金)-2019/9/27(金)

授業時間： 木曜 9：00-12：10 金曜 9：00-12：10

学習目標：社会におけるデザインの役割を理解し、自分の可能性を見いだすことを目標とします。「情報」を分析し、整理整頓して「デザイン」というカタチに構築し直すことを理解すること。また制作体験を通して作品制作に自信を持ち、自主的に制作できることを目標とします。

授業内容：新しい美術館の企画を立て、そのロゴマークが入ったグッズとフライヤーを完成させます。情報収集、分析評価を行いながら企画立案、アイデア出し、制作、展開まで体験し、更に試作や検証を繰り返すことにより作品の完成度を上げることを学びます。また、授業内で現在のデザイナーの役割や制作方法などの講義を行います。

前期実技授業名：「映像ワークショップ」 担当講師：三田村光土里

授業期間： 毎週 2019/4/13(土)-2019/7/13(土)

授業時間： 13：00-16：00

学習目標：現代社会のクリエイティブ環境の中には、ますますアートの感性や発想を求められる機会が増えてきています。それらは目指す共通の理念がアートとデザイン共に人に「感動」を与える事を目標にしているからに他なりません。そういった時代の流れを受けて様々なアートの分野より活躍している講師からリアルタイムな現場の情報と方法論を学び、クリエイティブな発想の「入口」、「きっかけ」になる講座をめざします。

授業内容：フォト・ストーリーをつくろう

前期実技授業名：「デザインプロセス」 担当講師：松蔭浩之

授業期間：毎週 2019/4/15(月)-2019/9/23(祝月)

授業時間：13：00-16：00

学習目標：一年次のPC実習の履修度の確認と、さらなるスキルアップをはかる。デジタルカメラ撮影法とあわせ、Adobe社のイラストレータとフォトショップを駆使し、デザインワークの領域を拡大する。後半は「セルフポートレート」を使用したCDジャケット制作に取り組む。

授業内容：「写真」を使った「CDジャケット」のデザインと、DTP印刷納品までのプロセスを享受。講義とワークショップを毎回繰り返しながら、CDというフォーマットで作品を完成させる。

前期実技授業名：「描写イラストレーションA」 担当講師：関根秀星

授業期間：毎週 2019/4/12(金)-2019/6/7(金)

授業時間：13：00-16：00

学習目標：モノの本質的、外見的な観察力を養い、正しいプロポーションで描く。インプットからアウトプットへ、表現における一連の作業の大切さ、方法を学ぶ。講評により、自作品を客観的に見る力をつける。

授業内容：鉛筆を用いて身近なモチーフを描く。最終課題では画面構成や見せ方も意識し、作品としての完成度の高さを目指す。

前期実技授業名：「エディトリアルデザイン基礎」 担当講師：奥定泰之

授業期間：毎週 2019/6/20(木)-2019/9/26(木)

授業時間：13：00-16：00

学習目標：「読むこと／見ること」をどうデザインでコントロールするかを意識しながら、エディトリアル作品を制作する。また実際の制作現場に対応できるような、素材や構造、印刷方法なども身につける。

授業内容：レイアウト、素材、構造などを意識しながら、冊子形式のエディトリアル作品を試作する。

前期実技授業名：「描写イラストレーションB」 担当講師：須田浩介

授業期間：毎週 2019/6/21(金)-2019/9/20(金)

授業時間：13：00-16：00

学習目標：対象物をよく見る事でその物の持つ色や質感などを捉え、アクリル絵の具を混色する事や、色を重ねる事で生の絵の具やデジタルでは生み出せない色を自らの手で作り対象の持つ色の再現度を高める事を目指します。

授業内容：水張りした紙、アクリルガッシュ、筆を使用し用意したモチーフをカラーで描く、絵の具を使う時のルールを授業時に指示します。イラストレーションにおけるリアリティーと想像で描く事とモチーフを見て描く事の違いを考え学ぶ。

後期実技授業名：「ブックデザイン」 担当講師：守先 正

授業期間：2019/9/28(土)-2019/10/19(土)

授業時間：9：00-16：00

学習目標：インデザインの操作を習得して、文字組みの基本を学習します。使用する紙のことまで考えて、本が1冊どのようにしてできあがるのかを学習します。

授業内容：自分が気になる小説を選びます。どういう書体を使って、どういうふうに文字を組むのか。内容にふさわしい本文の組み方をインデザインを使って実習します。四六判の本のカバーまわり（カバー、オビ、表紙、見返し、別丁とびら）のデザインをします。

後期実技授業名：「ブランドプロデュース」 担当講師：田中北斗

授業期間：2019/10/1(火)-2020/2/4(火)

授業時間：9：00-12：10

学習目標：商品ブランディングにおける小型グラフィックの展開。

授業内容：各自の身近な産業や特産物などを題材にし、商品としてのブランド作りから小型グラフィックデザインまでを提案する。

- ①世の中の小型グラフィックデザインを検証。
- ②身近な産業や特産物を知る。
- ③ブランディングのプラン作り。
- ④小型グラフィックデザイン制作。
- ⑤プレゼンテーションによる発表と講評

後期実技授業名：「デザインとアート」 担当講師：松蔭浩之

授業期間：毎週 2019/10/1(火)-2019/11/12(火)

授業時間：13：00-16：00

学習目標：現代美術の世界をわかりやすく解説。特にデザインの的に重要と考える作家と技法を紹介し、実践を試みる。

授業内容：美術史の流れの中で生まれた技法や手法を用いて、今までの自分とは異なる“変わった”作品を制作。座学とワークショップ形式の授業から現代美術を体感する。

後期実技授業名：「WEBコミュニケーション(先端メディア アート&デザイン)」

担当講師：秋山カズオ、中須賀美和子

授業期間：毎週 2019/10/2(水)-2020/2/5(水)

授業時間：9：00-12：10

学習目標：WEBメディアを利用したコミュニケーションの基礎知識を課題を通して理解していきます。インサイトを理解し、伝わる表現や使いやすいWEBデザインの習得を目標とします。

授業内容：WEBのトレンドやルールを知識として理解するだけでなく、ワークショップやグループワークを行う事でリアルな体験をしていきます。最終的にはWEBサイトの制作を行い、実践的なスキルの習得を目指します。

後期授業名：「デザインの仕事と現場」 担当講師：大久保裕文

授業期間：毎週 2019/10/3(木)-2020/2/6(木)

授業時間：10：40-12：10

学習目標：印刷媒体を中心としたグラフィックデザインのアイディアや実際の作業の説明。

授業内容：いままで経験したデザイン事例の解説。数回、編集者やカメラマンを呼んで、彼らとの仕事の関連事例を伝える。課題としては街の風景写真、フライヤー制作、アルファベットのタイポグラフィ制作など。

後期実技授業名：「マーケティング」 担当講師：山本哲次

授業期間：毎週 2019/10/4(金)-2020/2/7(金)

授業時間：9：00-12：10

学習目標：お店の企画立案から広告デザインまでの制作を通して、企画・戦略・表現の関係を学習します。特にこの授業では、ビジネスにおいて最も重要視されるマーケティングを学び、表現メディアに求められる本質とその役割についてを学びます。将来、職種を広げた場合でもビジネスを生み出していく力をつける授業です。

授業内容：グループで制作する授業です。経営のかんばしくないお店を立て直す戦略を練り、企画立案・媒体計画を立て、広告デザイン案の制作を行い、プレゼンテーションまで行います。また、授業内でマーケティングやアイデアの出し方、美しい表現のポイントなどについての講義を行います。企画の立て方や制作プロセスは、授業の中で説明します。

後期実技授業名：「広告デザイン」 担当講師：原口昌彦

授業期間：2019/10/21(月)-2019/11/13(水)

授業時間：9：00-16：00

学習目標：メディアと広告表現の関係を実践的に捉え、グラフィックのメディアと表現方法を吟味し、課題に対して現実的な視点の上で制作提案して行く。

授業内容：課題ごとにメディアを設定し、その上で最適な広告表現（視覚化）をしていく。「テーマ」は授業内で発表、制作終了後プレゼンテーション・講評実施。

後期実技授業名：「ブランディングデザイン」 担当講師：田中北斗

授業期間：2019/11/14(木)-2019/12/6(金)

授業時間：9：00-16：00

学習目標：商品ブランディングにおける小型グラフィックの展開。「飲食店におけるトータルデザイン」飲食店舗のトータルプロデュースという設定。企画～デザイン制作、アートディレクション至る、総合的なクリエイティブワークを行い、幅広い知識とスキルを身につける。

授業内容：業態の企画、ネーミング、キャッチコピー、ロゴマーク、メニュー、サイン計画、店舗イメージ、宣伝ツール等トータルデザイン。

後期実技授業名：「アートディレクション」 担当講師：大石恵美子

授業期間：2019/12/9(月)-2020/1/18(土)

授業時間：9：00-16：00

学習目標：アートディレクションの根幹である「ビジュアルでコミュニケーションをする」ための3つの基本的な力を養います。①柔軟な発想力 ②幅広い表現力（得意な技法を極め、不得意・未知の分野に挑戦する）③物量を克服する持久力と執着心

授業内容：1つのテーマから100種類のビジュアルを作ります。

後期実技授業名：「ポスターデザイン」 担当講師：草谷隆文

授業期間：2020/1/20(月)-2020/2/8(土)

授業時間：9：00-16：00

学習目標：今まで学んだテーマから、タイポグラフィを主体としたポスター作り。B全もしくはB倍の大型ポスターを作る事により、文字のディテールを追求、研究する。

授業内容：各自、漢字、カタカナ、ひらがな、アルファベットを1文字選び、文字の持つディテールを研究しつつ、ファインアートを取り込んだポスター作品を制作。指導者も同時に制作し、おのおのディスカッションをして進めていく。企画のたて方や進め方は授業の中で説明。

後期実技授業名：「就活ポートフォリオ（就職支援カリキュラム）／インターンシップ」

担当講師：上野仁志、山本哲次

授業期間：2020/2/10(月)～2020/2/29(土)

授業時間：9：00～16：00

学習目標：仕事に対する意識を高め、就職活動を知り、将来計画のきっかけをつくることを目標とします。

インターンシップを経験することにより、専門的知識についての実務能力を高めるとともに、学習意欲に対する刺激を得られ、高い就業意識を身につけることができます。さらに、将来の進路選択において自らの適性や能力について実践的に考える機会になります。クリエイティブ業界の最新の情報を得られるとともに、会社が求める人材に対するニーズが把握できる事も大きなメリットです。

授業内容：自分のポートフォリオを制作し、プレゼンテーションを行ないます。また、就職についての講義を行ないます。

就業体験（インターンシップ）をし、実習レポートをまとめて提出。（希望選択制）

学校法人高澤学園

創形美術学校

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 3-31-2

TEL 03-3986-1981 FAX 03-3986-1982

URL <https://www.sokei.ac.jp/>

E-mail: sokei@sokei.ac.jp